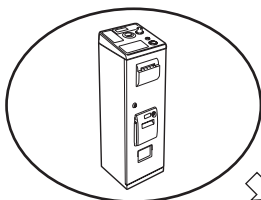
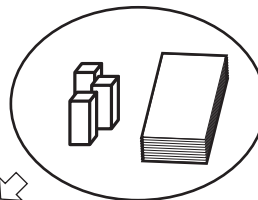
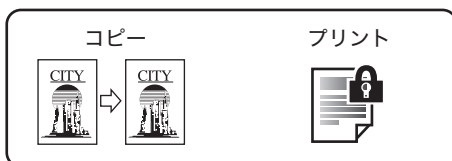
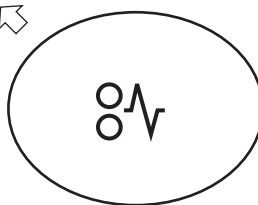
Canon

マルチモード

取扱説明書

ご使用前に必ず本書をお読みください。
将来いつでも使用できるように大切に保管してください。

こんなときに読みます

プリペイドカードの発行／度数追加
ジョブに応じた必要度数管理

プリペイドマネージャー
取扱説明書

本書の構成について

索引を掲載しています。

目次

第５章　本製品を管理されるかたへ

第６章　付録

はじめに

このたびはキヤノン製品をお買い上げいただき、誠にありがとうございます。本製品の機能を十分にご理解いただき、より効果的にご利用いただくために、ご使用前にこの取扱説明書をよくお読みください。また、お読みいただきました後も大切に保管してください。

この取扱説明書には、本製品をお使いになる場合のコピー／プリント機能と操作方法が記載されています。まず最初に本書をご覧ください。

安全にお使いいただく上で必要な、次の事項については、本体付属の取扱説明書を参照してください。

- 規制について
- 安全にお使いいただくために
- 本体各部の名称とはたらき
- 設置場所と取り扱いについて
- 日常のお手入れ
- 消耗品
- 保守について
- 仕様

（次の事項は、ブレーカーのある機種のみ記載があります。）

- ブレーカーの定期点検
- ブレーカー点検チェックシート

コインマネージャー／プリペイドマネージャーに関する必要事項については、付属の「コインマネージャー取扱説明書」および「プリペイドマネージャー取扱説明書」をご覧ください。（本書では、課金装置を「コインマネージャー」／「プリペイドマネージャー」と総称しています。）

本書の読みかた

マークについて

本書では、安全のためにお守りいただきたいことや取り扱い上の制限・注意などの説明に、下記のマークを付けています。

警告 取り扱いを誤った場合に、死亡または重傷を負う恐れのある警告事項が書かれています。安全に使用していただくために、必ずこの警告事項をお守りください。

注意 取り扱いを誤った場合に、傷害を負う恐れのある注意事項が書かれています。安全に使用していただくために、必ずこの注意事項をお守りください。

重要 操作上、必ず守っていただきたい重要事項や制限事項が書かれています。誤った操作によるトラブルや故障、物的損害を防ぐために、必ずお読みください。

メモ 操作の参考となることや補足説明が書かれています。お読みになることをおすすめします。

キーについて

本書では、キー名称、ボタン名称を以下のように表しています。

- タッチパネルディスプレー上のキー：[キー名称]

  例：　[キャンセル]
  　　　[閉じる]

- 操作パネル上のキー：＜キーアイコン＞＋（キー名称）

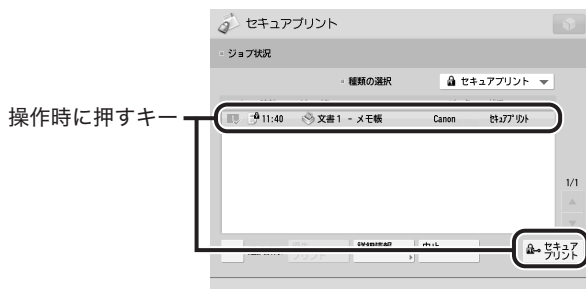
  例：　（スタート）
  　　　（ストップ）

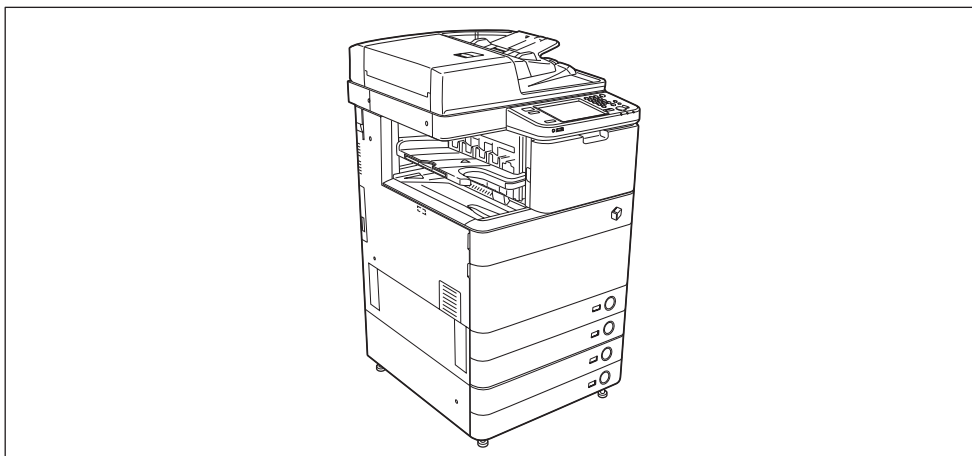
- コンピューター画面上のボタン：[ボタン名称]

  例：　[プロパティ]
  　　　[OK]

画面について

本書で使われている画面は、お使いの機種や環境によって表示が異なる場合があります。

操作時に押すキーの場所は、(丸）で囲んで表しています。また、操作を行うキーが複数表示されている場合は、それらをすべて囲んでいますので、ご利用に合わせて選択してください。

イラストについて

本書で使われているイラストは、特にお断りがない限り imageRUNNER ADVANCE C5051 にインナーフィニッシャー・A1、2 段カセットペディスタル・AD1 が装着されている場合のものです。

記載について

本書では、郵便事業株式会社製のはがきを郵便はがきと記載しています。

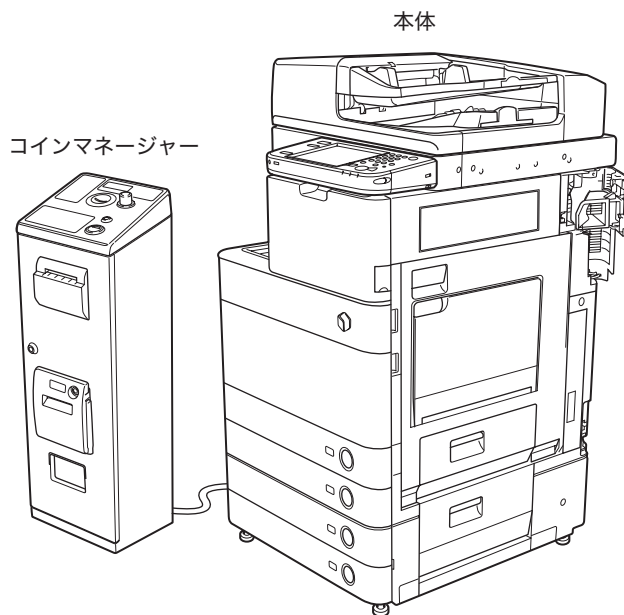
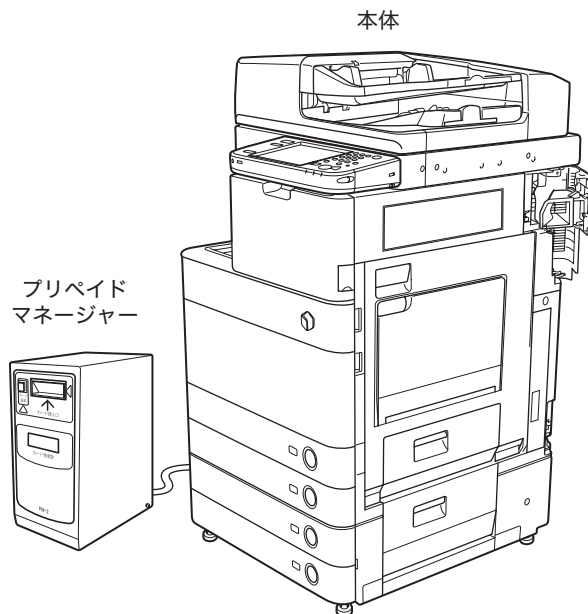
お使いになる前に

コインマネージャー／プリペイドマネージャーの各部の名称とはたらきや、お使いになる前に知っておいていただきたいことについて説明します。

本製品の構成

本製品はマルチモード本体とコインマネージャー／プリペイドマネージャーから構成されます。

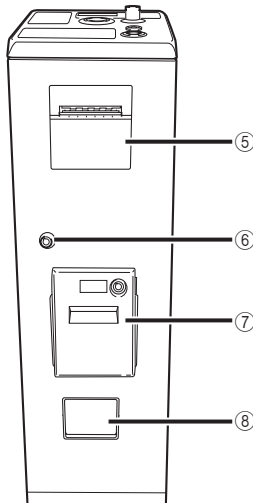
メモ
- 表示部等に貼られているフィルムは、ご使用の前にはがしてください。
- コインマネージャー／プリペイドマネージャーの取り扱いについては、「コインマネージャー取扱説明書」／「プリペイドマネージャー取扱説明書」を参照してください。

本体
プリペイド
マネージャー

各部の名称とはたらき

コインマネージャー／プリペイドマネージャーについて、各部の名称とはたらきを説明します。

コインマネージャー各部の名称とはたらき

コインマネージャーの取り扱いについては、「コインマネージャー取扱説明書」を参照してください。

① **返却ボタン**
入れたコインを取り出すときに押します。

② **切替キー**
切り替えるときに使用します。

③ **領収書発行ボタン**
領収書を発行するときに押します。

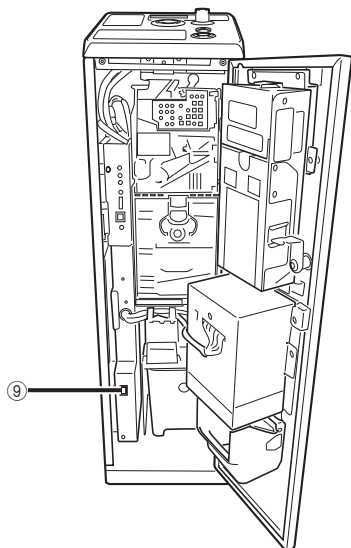
④ **コイン投入口**
コインはここから入れます。

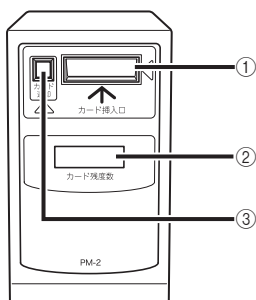
⑤ **千円札入金口**
千円札はここから入れます。オプション機器を装着している場合に使用できます。

⑥ **開閉キー口**
コインマネージャーの前カバーを開け閉めするときに使用します。

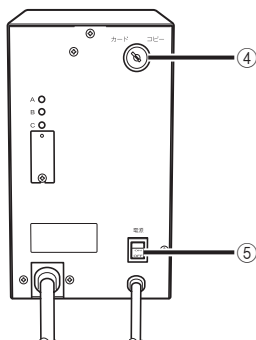
⑦ **領収書発行口**
領収書はここから発行されます。オプション機器を装着している場合に使用できます。

⑧ **返却口**
コインはここに返却されます。

⑨ **電源スイッチ**
「○」側を押すと電源が入ります。

プリペイドマネージャー各部の名称とはたらき

プリペイドマネージャーの取り扱いについては、「プリペイドマネージャー取扱説明書」を参照してください。

① **カード挿入口**
プリペイドカードはここから入れます。

② **表示部**
プリペイドカード挿入時のプリペイドカード残度数が表示されます。

③ **返却ボタン**
挿入したプリペイドカードを取り出すときに押します。

④ **切替キー**
切り替えるときに使用します。

⑤ **電源スイッチ**
「ON」側を押すと電源が入ります。

本製品のシステム設定について

本製品をネットワーク上で使用したり、プリンターとして使用する場合などは、お使いになる前に本体の各種設定をする必要があります。

次の該当項目を参照してください。

■ プリンタードライバーのインストールなどについて

本製品のプリント機能を使うには、プリンタードライバーをコンピューターにインストールして、プリンターの環境設定を設定する必要があります。詳細については、本体付属の「ドライバーインストールガイド」を参照してください。

■ ネットワークとの接続や設定について

本製品をネットワーク環境で使用するには、ネットワークケーブルの接続、[環境設定]（設定／登録）の［ネットワーク］から、ネットワーク環境を設定する必要があります。詳細については、本体付属の取扱説明書を参照してください。

■ 日付／時刻の設定について

現在の日付と時刻を設定します。日付／時刻は［環境設定］（設定／登録）の［タイマー / 電力設定］から、[日付 / 時刻設定］を選択して設定できます。詳細については、本体付属の取扱説明書を参照してください。

■ システム管理者情報の設定について

システム管理者は、本製品にログインして、システム全般に関する設定を行うことができます。ログインするために必要なシステム管理部門 ID とシステム管理暗証番号は［管理設定］（設定／登録）の［ユーザー管理］から、[システム管理者情報の設定］を選択して設定できます。詳細については、本体付属の取扱説明書を参照してください。

基本的な使いかた

基本的なコピーのしかたや、プリントのしかたについて説明します。

基本的なコピーのしかた

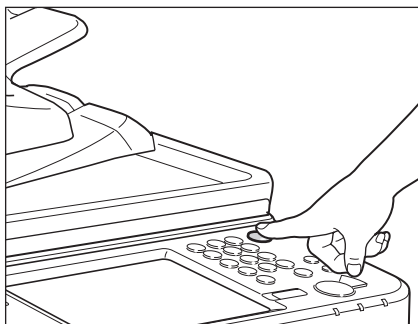
コピーの基本的な操作の流れについて概説します。

重要　マルチモードでコピー機能を使用するには、マルチカラーイメージリーダーユニットが必要です。

メモ　すべての設定を解除するには、（リセット）を押します。

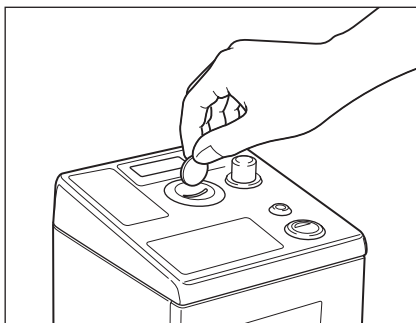
2

基本的な使いかた

1　タッチパネルディスプレーに何も表示されていないときは、操作部電源スイッチを押します。

重要　低電力モードおよびスリープモードに入っているときや電源が切れているときは、タッチパネルディスプレーには何も表示されず、コピー操作をすることはできません。

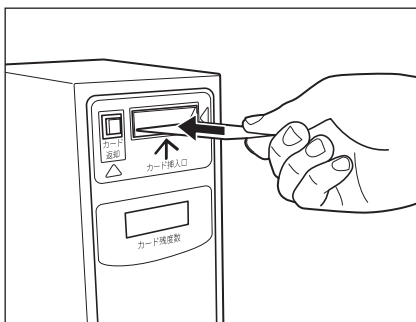
メモ
- お使いの機種によっては、操作部電源スイッチがありません。操作部電源スイッチがない場合は、節電キーを押してスリープ状態を解除してください。
- 低電力モードおよびスリープモードの機能については「消費電力の節約について」（→P.5-16）を参照してください。
- 主電源が切れている場合は、主電源ランプが消灯しています。「電源を入れる」（→ P.5-2）を参照しながら電源を入れてください。
- 操作部電源スイッチまたは節電キーを押してからコピー操作のできる状態になるまでの時間については、本体付属の取扱説明書に記載されている仕様一覧の「ウォームアップタイム」を参照してください。

2 以下の操作を行います。

● **コインマネージャーをお使いの場合**

❑ コインを入れます。

メモ　コインがつまったときは、「コインマネージャー取扱説明書」を参照してください。

● **プリペイドマネージャーをお使いの場合**

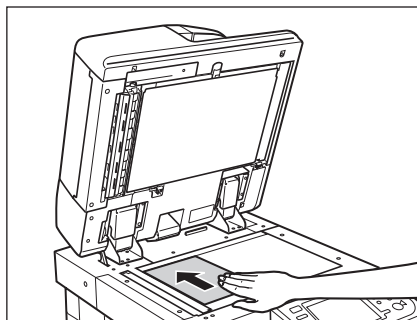
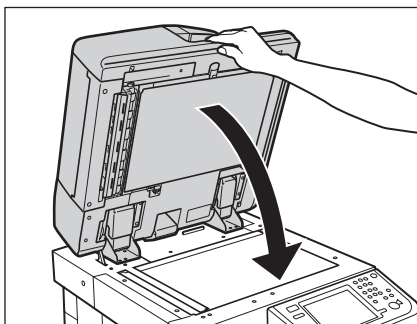
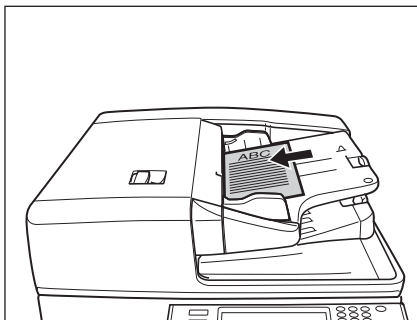
❑ プリペイドカードを挿入します。

メモ　カードがつまったときは、「プリペイドマネージャー取扱説明書」を参照してください。

3 メインメニュー画面で［コピー］を押します。

コピー基本画面が表示されます。

コピー基本画面

4 原稿をセットします。

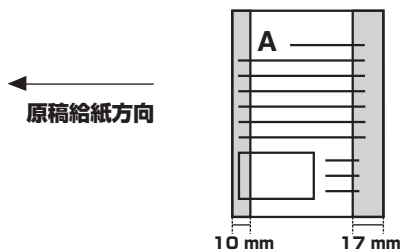
原稿をガラス台にセットする場合は、読み込む面を下向きにして、原稿台ガラス面の左奥（矢印マーク）に原稿の角をあわせてセットします。

原稿をフィーダーにセットする場合は、スライドガイドを原稿のサイズにあわせて、読み込む面を上向きにして原稿給紙トレイの上にセットします。

メモ
- ［ファンクション設定］（設定／登録）の［コピー］の［自動ソート］が「ON」の場合は、フィーダーに原稿をセットした時点で自動的にソートまたはシフト（ずらし）ソートが設定されます。
- 原稿をセットする方法の詳細については、本体付属の取扱説明書を参照してください。

5 原稿台ガラスに原稿をセットしたときは、フィーダ／原稿台カバーを閉じます。

原稿サイズを読み取り、コピーする用紙サイズが自動選択されます。選択された用紙サイズが適切でない場合は、［用紙選択］を押して用紙サイズを変更してください。

注意
- **フィーダーは手をはさまないように静かに閉じてください。けがの原因になることがあります。**
- **厚いブック原稿などをフィーダーで強く押さないでください。原稿台ガラスが破損して、負傷する恐れがあります。**
- **フィーダーを閉じるときには、ランプが光りまぶしいことがあるのでご注意ください。**

重要　原稿台ガラスに原稿をセットした場合の原稿サイズの検知は、フィーダーを閉じてから実行されます。フィーダーは必ず閉じてください。

6 必要に応じたコピーモードを設定します。

重要

お使いの機種によっては、コピー基本画面の［カラー選択］を押して、カラーモードを［自動（カラー / 白黒）］、［フルカラー］、［白黒］、［単色カラー］、［2 色カラー］から選択することができます。［自動（カラー / 白黒）］設定時、次のことに注意してください。

- お使いの機種によっては、ポスターを組み合わせて設定すると、［フルカラー］に変更されます。
- 白黒原稿でもカラー原稿と同じコピースピードになります。
- 原稿にカラー部分があれば、フルカラーで読み込みます。ただし、次の原稿は、白黒モードで読み込むことがあります。［フルカラー］に切り替えてください。
  - カラー部分が微小の原稿
  - 黒に近い色の原稿
  - 淡い色の原稿
  - フィーダーにセット時、読み込む面の図で示した範囲のみにカラー部分がある原稿

片面原稿または両面原稿反転読取の場合

メモ

コピー基本画面では、用紙の選択、コピー濃度の設定、画質の設定、倍率の設定、両面コピーの設定、仕上げの設定などができます。コピー基本画面で設定できる機能の詳細については、「便利なコピーのしかた」（→ P.2-12）を参照してください。

7 その他の機能画面で必要に応じたコピーモードを設定します。

❏［その他の機能］を押します。

❏ 設定したいモードのキーを押します。

その他の機能画面は、お使いの機種によって 3 〜 4 つの画面にわかれています。［▼］［▲］を押して、目的のコピーモードを選択してください。

その他の機能画面で設定できる機能の詳細については、「便利なコピーのしかた」(→P.2-12) を参照してください。

8 ⓪〜⑨(テンキー) で必要なコピー枚数 (1 〜 999) を入力します。

コピー枚数を修正するときは、ⓒ(クリア) を押して設定枚数を取り消し、必要な枚数を入力しなおします。

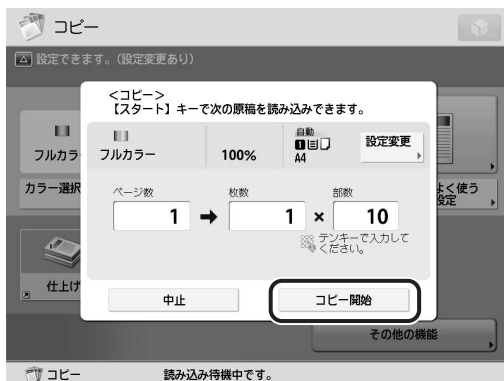
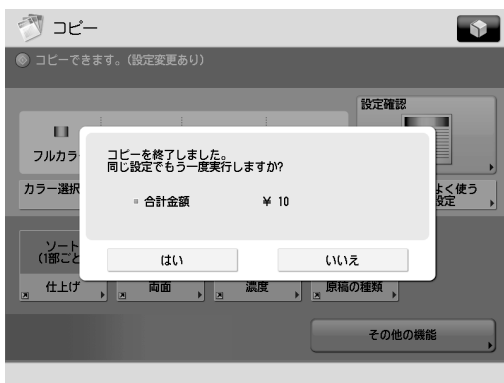
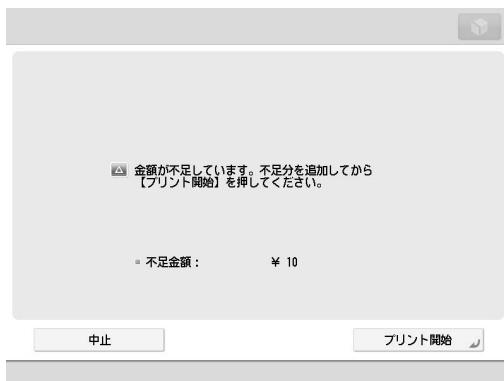
設定枚数がコピー基本画面の右側に表示されます。

重要 コピーの途中でコピー枚数を変更することはできません。

メモ 設定できるコピー枚数は、コピーモードの設定によって異なります。

9 ◎（スタート）を押します。

数回に分けて読み込んだ原稿を一度にまとめてコピーする場合は、読み込みがすべて終了したあと、［コピー開始］を押します。

原稿台ガラスに原稿をセットしているときは、原稿 1 枚ごとに◎（スタート）を押して原稿を読み込みます。

料金が不足している場合は、「金額が不足しています。不足分を追加してから【プリント開始】を押してください。」と表示されます。コインマネージャーをお使いの場合は、コインを追加してください。プリペイドマネージャーをお使いの場合は、残度数が足りているプリペイドカードを挿入しなおしてください。（プリペイドカードの追加投入はできません。）

料金不足のときの画面

コピーを中止する場合は、［中止］を押します。

コピーが終了すると次の画面が表示されます。

［はい］を押すと、コピーモードが設定されたままになります。

［いいえ］を押すと、設定されていた内容がリセットされます。

重要 読み込み中は原稿台カバーに触れないでください。原稿がずれると適切な画像が得られないことがあります。

メモ

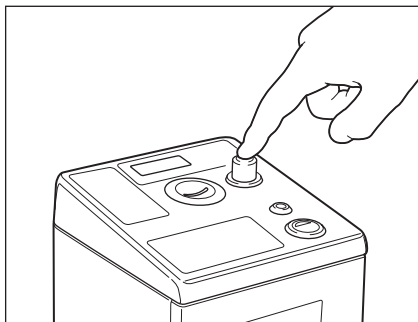
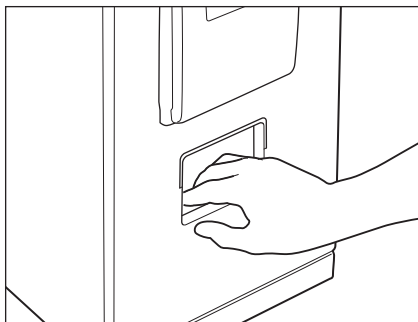
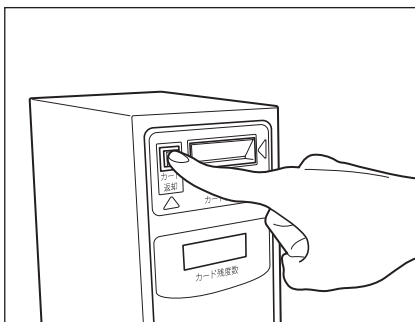
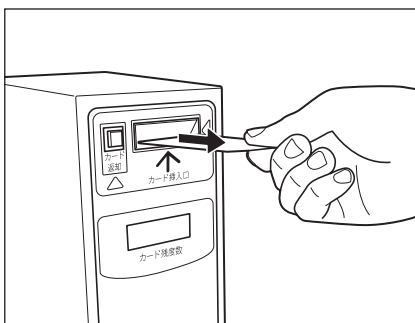
- コピーを中止する場合は、読み込み中、プリント中、またはプリント待機中に表示される画面の［中止］を押します。［中止］を押したあと、用紙が数枚排紙されることがあります。
- （ストップ）を押してもコピーを中止できます。
- 状況確認／中止画面からもコピーを中止できます。
- コピー中は、枚数、用紙サイズ、倍率などの設定を変更することはできません。［中止］を押してコピーを中止してから、それぞれの設定を変更してください。
- コピー中はコインの追加、コイン／プリペイドカードの返却はできません。
- コピー中は、コピー開始前に設定されたコピー濃度を基準に、5段階で濃度の調整ができます。
- コピー中は、メインメニュー画面、カスタムメニュー画面を表示できません。
- 先行するジョブがある場合は、ジョブを投入したり割り込んでコピーすることはできません。先行するジョブが完了してからコピーを開始してください。
- 合計金額が0の場合は、プリント結果のダイアログボックスに金額は表示されません。

10 続けてコピーをとる場合は、次の設定をします。

- ❑ コイン／プリペイドカード残度数が残っていない場合は、コインの追加、またはプリペイドカードの挿入を行います。
- ❑ 必要に応じて設定の変更や原稿の交換を行って、（スタート）を押します。設定をリセットした場合は、手順4から操作を繰り返します。

11 コピーを終了します。

● **コインマネージャーをお使いの場合**

❑ コインマネージャーの返却ボタンを押します。

❑ 返却口からおつりを取り出します。

コインが残っていない場合は、手順 12 へ進みます。

● **プリペイドマネージャーをお使いの場合**

❑ プリペイドマネージャーの返却ボタンを押します。

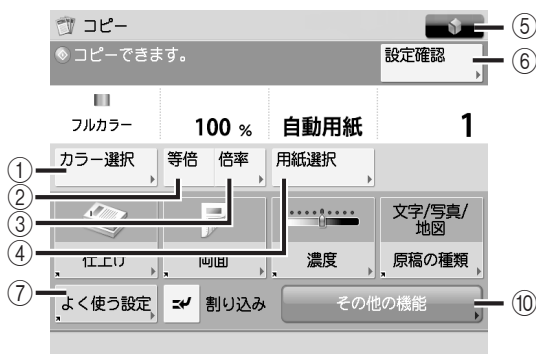
❑ プリペイドカードを取り出します。

12 排紙トレイから用紙を取り除きます。

13 原稿を取り除きます。

重要 原稿の置き忘れには、十分ご注意ください。

便利なコピーのしかた

いろいろなコピー機能について説明しています。お使いの機種によっては、表示される画面が異なります。

メモ　各コピー機能の詳しい設定方法については、本体付属の取扱説明書を参照してください。

■ コピー基本画面

［コピー］を選択したときに表示される次の画面をコピー基本画面といいます。

タイプA

タイプB

① **カラー選択**
お使いの機種がカラー機の場合、設定できます。

② **等倍**
原稿と同じサイズでコピーをするときに押します。

③ **倍率**
倍率を設定するときに押します。

④ **用紙選択**
用紙のサイズや種類、給紙位置を選択するときに押します。

⑤ （ボタン）
以下の４つの設定ができます。
「よく使う設定」の登録／編集
カスタムメニューに登録
デフォルト設定の変更
「その他の機能」のショートカット登録

⑥ **設定確認**
コピーモードの設定内容を確認、変更、取り消しするときに押します。

⑦ **よく使う設定**
よく使うコピーモードを登録するときに押します。

⑧ **設定の履歴**
設定されていた３つ前までのコピーモードを呼び出すときに押します。呼び出したコピーモードでコピーできます。
お使いの機種によっては、［その他の機能］から選択します。

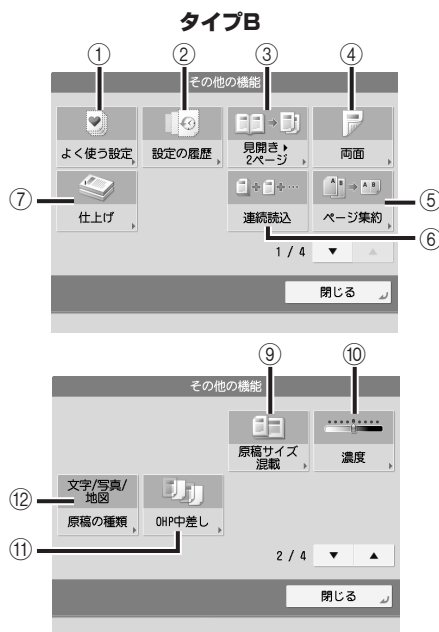
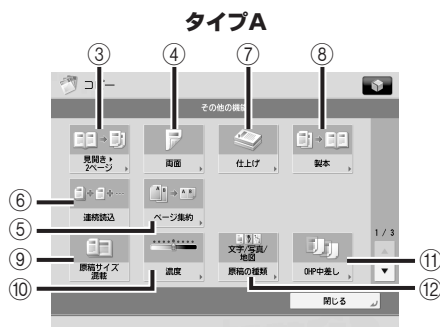
⑨ **「その他の機能」のショートカット**
その他の機能のショートカットです。デフォルトでは［仕上げ］、［両面］、［濃度］、［原稿の種類］が設定されています。

⑩ **その他の機能**
その他の機能を選択するときに押します。原稿読込、移動、ページ編集、加工、レイアウト、画像調整などのその他の機能を設定できます。

■ その他の機能画面

コピー基本画面から、［その他の機能］を押すと、その他の機能画面が表示されます。その他の機能画面はお使いの機種によって 3 ～ 4 つの画面にわかれています。［▼］［▲］を押して画面を切り替えてください。機能を選択した場合、機能によってはさらに詳細設定する画面が表示されます。［閉じる］を押すと、コピー基本画面に戻ります。また、機能を選択したあと ? を押すと、ヘルプが表示されます。

タイプA

タイプB

① **よく使う設定**
よく使うコピーモードを登録します。登録した設定を呼び出すこともできます。

② **設定の履歴**
設定されていた 3 つ前までのコピーモードを呼び出します。

③ **見開き▶2 ページ**
ブック原稿の左右ページを別べつの用紙にコピーします。

④ **両面**
両面を設定するときに押します。片面／両面の原稿やブック原稿を用紙の表裏に、また両面原稿を片面にコピーできます。

⑤ **ページ集約**
数枚の原稿や両面原稿などを 1 枚分の用紙サイズに縮小してコピーします。

⑥ **連続読込**
一度にすべての原稿をセットできないときに、数回に分けて原稿をセットして、読み込みだけを先にすべて行い、まとめてコピーします。

⑦ **仕上げ**
ソート、グループ、ホチキスなどを設定します。

⑧ **製本**
複数枚の原稿を小冊子になるようにコピーするときに押します。表紙にコピーすることはできません。

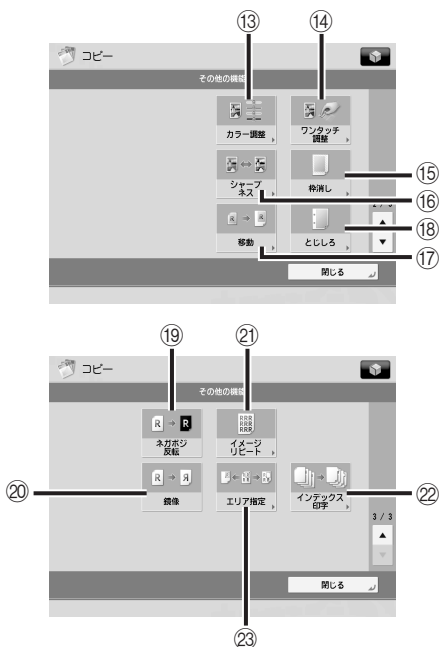
⑨ **原稿サイズ混載**
異なるサイズの原稿を同時にセットしてコピーします。

⑩ **濃度**
コピー濃度を調節します。

⑪ **OHP 中差し**
OHP フィルムにコピーするときに、OHP フィルムの間に 1 枚ずつ用紙を挿入します。挿入する用紙にもコピーできます。

⑫ **原稿の種類**
原稿の種類（文字のみの原稿、文字／写真混在の原稿、写真のみの原稿、地図など）を選択してコピーします。

タイプA

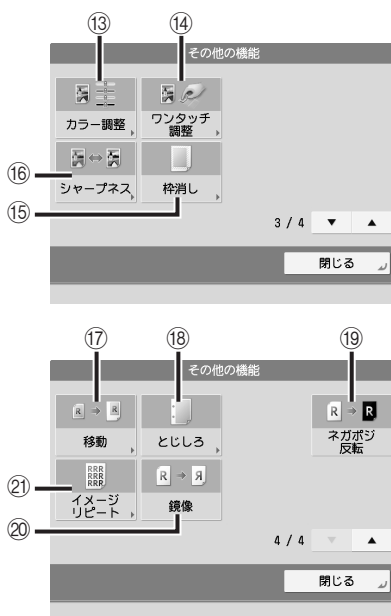
タイプB

⑬ **カラー調整**
カラーバランスの調整をしてコピーします。お使いの機種によっては、設定できない場合があります。

⑭ **ワンタッチ調整**
画質の調整をしてコピーします。お使いの機種によっては、設定できない場合があります。

⑮ **枠消し**
コピーに写る原稿の影や枠線、パンチ穴などを消します。

⑯ **シャープネス**
コピーされた画像のシャープネスを調整します。

⑰ **移動**
用紙内の指定した位置に移動してコピーします。

⑱ **とじしろ**
コピーの端に、とじしろ用の余白を作ってコピーします。

⑲ **ネガポジ反転**
原稿の全体の色相や濃淡を反転してコピーします。

⑳ **鏡像**
原稿の画像を鏡に映したときのように反転させてコピーします。

㉑ **イメージリピート**
原稿の画像をタテまたはヨコ方向に繰り返してコピーします。

㉒ **インデックス印字**
インデックス紙のインデックス部分にコピーします。

㉓ **エリア指定**
エリアを指定してコピーします。お使いの機種によっては、設定できない場合があります。

プリントのしかた

コンピューターから本製品に、暗証番号を付けた文書（プリントデータ）を送ることができます。このような暗証番号が付けられた文書を「セキュア文書」と呼びます。本製品に送られたセキュア文書のジョブは、タッチパネルのジョブリストに（カギ付き文書マーク）が付いた状態で表示され、いったんプリント待ち状態となります。このジョブをプリントするには、本製品から暗証番号を入力する必要があるため、暗証番号を知らない人に文書の内容を見られることなくプリントできます。

重要

- お使いの機種によっては、オプション HDD（2.5inch/80GB）が必要な場合があります。
- コンピューター側で暗証番号を付ける設定は、プリンタードライバーで行います。詳しくは、お使いのプリンタードライバーのヘルプを参照してください。
- 主電源を切ったり、プリンターを初期化したりすると、セキュア文書は消去されます。プリンター初期化については、本体付属の取扱説明書を参照してください。
- セキュア文書はプリント終了後、消去されます。
- セキュア文書のプリント設定（プリンタードライバーで行った設定）は変更できません。
- セキュア文書はプリントしなくても自動的に消去されます。消去するまでの時間は、[ファンクション設定]（設定／登録）の［プリンター］の［プリンター設定］から、[仕様設定］の［セキュアプリント消去時間］を選択して設定できます。
- セキュア文書は 50 個まで保存可能です。保存可能なジョブ数を超えた場合、そのジョブは無視されます。
- 大量のページ数のプリントはキャンセルされる場合があります（ジョブ状況画面にジョブが表示されない）。一度にプリントできるページ数の目安としては約 6,000 ページです。ただし、他の機能や他のジョブの処理中などで本体を使用している場合はこのページ数より少なくなります。

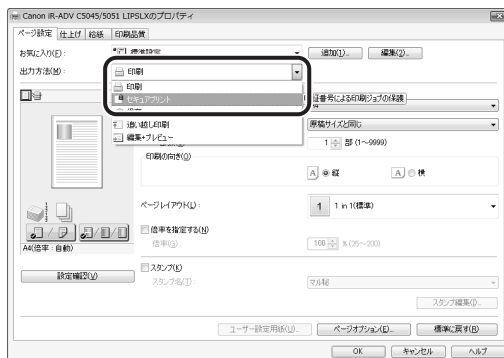
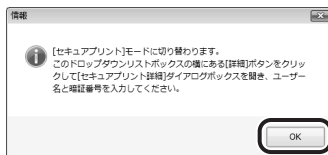
コンピューターから文書を送信する

注意　お使いの OS によっては画面が異なる場合があります。

1 コンピューター側で印刷画面を表示させ、［プロパティ］をクリックします。

プリント設定画面が表示されます。

メモ　お使いのアプリケーションによっては、印刷画面が異なる場合があります。

2 ［出力方法］ドロップダウンリストから［セキュアプリント］を選択します。

3 ［OK］をクリックします。

4 ［OK］をクリックして、プリンタードライバー画面を閉じたあと、［OK］をクリックします。

メモ　お使いのアプリケーションによっては、印刷画面が異なる場合があります。

5 ユーザー名と暗証番号を入力したあと、［OK］をクリックします。

メモ
- ユーザー名は本体のタッチパネルディスプレー上に表示されます。他人と区別しやすいユーザー名を登録してください。
- 暗証番号は、本体からプリントするときに再度入力する必要があります。文書に暗証番号を設定したあと、忘れないようにメモをとってください。

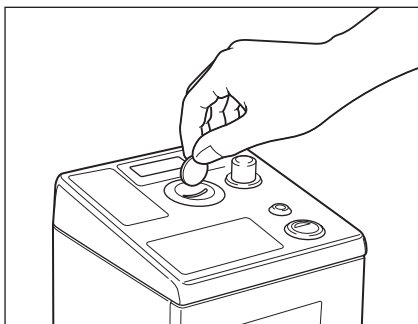
文書をプリントする

1 **タッチパネルディスプレーに何も表示されていないときは、操作部電源スイッチを押します。**

重要　低電力モードおよびスリープモードに入っているときや電源が切れているときは、タッチパネルディスプレーには何も表示されず、プリント操作をすることはできません。

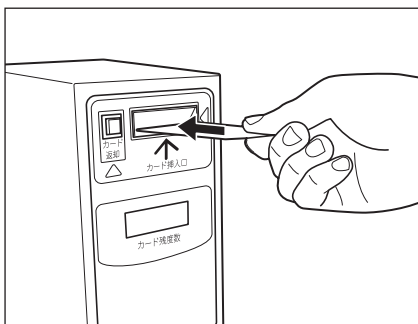
メモ　お使いの機種によっては、操作部電源スイッチがありません。操作部電源スイッチがない場合は、節電キーを押してスリープ状態を解除してください。

2 **次の操作を行います。**

● **コインマネージャーをお使いの場合**

❏ コインを入れます。

メモ　コインがつまったときは、「コインマネージャー取扱説明書」を参照してください。

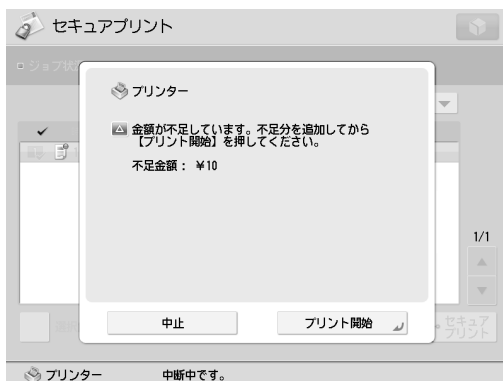
● **プリペイドマネージャーをお使いの場合**

❏ プリペイドカードを挿入します。

メモ　カードがつまったときは、「プリペイドマネージャー取扱説明書」を参照してください。

3 メインメニュー画面で［セキュアプリント］を押します。

メモ

- 電源を入れたときや、オートクリアしたあとの初期画面にセキュアプリント画面を表示させることができます。
- 起動／復帰後に表示する画面は［環境設定］（設定／登録）の［表示設定］から、［起動 / 復帰後に表示する画面］を選択して設定できます。詳細については、本体付属の取扱説明書を参照してください。

4 プリントする文書を選択したあと、［セキュアプリント］を押します。

［管理設定］（設定／登録）の［ジョブ履歴の表示］を「ON」に設定しているか、ログインサービスを使用している場合は、［マイジョブ状況］または［ジョブ状況］を押したあと、プリントする文書を選択します。ログインサービスについては、本体付属の取扱説明書を参照してください。

5 暗証番号を⓪〜⑨（テンキー）で入力したあと、［OK］を押します。

プリントしない場合は、［キャンセル］を押します。

料金が不足している場合は、「金額が不足しています。不足分を追加してから【プリント開始】を押してください。」と表示されます。コインマネージャーをお使いの場合は、コインを追加してください。プリペイドマネージャーをお使いの場合は、残度数が足りているプリペイドカードを挿入しなおしてください。（プリペイドカードの追加投入はできません。）

料金不足のときの画面

プリントを中止する場合は、［中止］を押します。

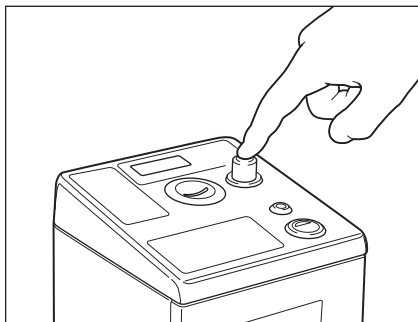
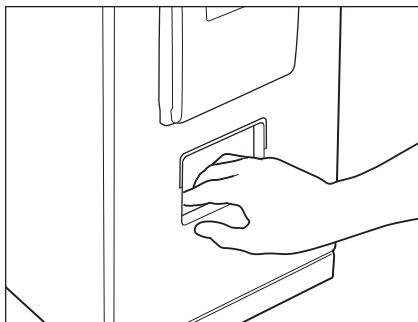
プリントが終了すると次の画面が表示されます。

メモ

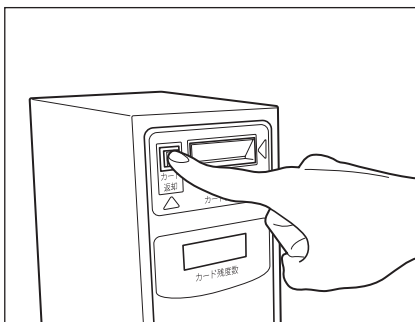
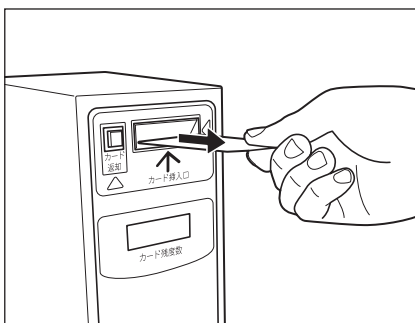
- 実行中のジョブを中止する場合は、プリント基本画面で中止するジョブを選択したあと、［中止］を押します。
- 状況確認／中止画面でもプリントを中止できます。
- 複数のジョブを中止するには、リストに表示されたジョブを中止する順に選択したあと、［中止］を押します。
- すべてのジョブを中止するには［全選択］を押したあと、［中止］を押します。
- コンピューター側の操作で付けた暗証番号と同じ暗証番号を入力してください。プリントができる状態になります。プリント中のジョブがある場合は、プリントすることができません。先行するジョブが完了してからプリントしてください。
- プリント中は、メインメニュー画面、カスタムメニュー画面を表示できません。
- 合計金額が 0 の場合は、プリント結果のダイアログボックスに金額は表示されません。

6 プリントを終了します。

● **コインマネージャーをお使いの場合**

❑ コインマネージャーの返却ボタンを押します。

❑ 返却口からおつりを取り出します。

コインが残っていない場合は、手順 7 へ進みます。

● **プリペイドマネージャーをお使いの場合**

❑ プリペイドマネージャーの返却ボタンを押します。

❑ プリペイドカードを取り出します。

7 **排紙トレイから用紙を取り除きます。**

紙づまりの処理

本体各部の紙づまりの処理について説明します。

頻繁に紙づまりが起こるときは

紙づまりが頻発するときは、次のような原因が考えられます。それぞれの対処方法に従って、原因を除去してください。

■ 本体内に紙片が残っている

つまっている用紙を無理に引っ張ると、用紙が破れて紙片が本体内に残ってしまうことがあります。用紙が破れた場合には、残りの紙片もすべて取り除いてください。

■ 設定と異なる用紙がカセットにセットされている

カセットにセットされている用紙が、カセットの側面にある用紙サイズの指標と一致しているかどうか確認してください。

紙づまりが起きたときには

紙づまりが起きると、タッチパネルディスプレーに次のような画面が表示されます。

紙づまりが起こったときの表示

タッチパネルディスプレーに、紙がつまっている場所を示す画面が表示されてから、紙づまりの処理方法が表示されます。この画面表示は紙づまりが処理されるまで繰り返されます。

■ 紙づまりの処理方法を示す画面の例

タイプA

タイプB

⚠警告　製品内部には、高圧になる部分があります。紙づまりの処理など内部を点検するときは、ネックレス、ブレスレットなどの金属物が製品内部に触れないように点検してください。やけどや感電の原因になることがあります。

⚠注意

- 原稿づまりや紙づまりを取り除くときは、用紙の端で手を切ったりしないように、注意してください。
- 紙づまりで用紙を製品内部から取り除くときは、製品内部で手を切ったりけがをしないように、注意してください。用紙を取り除くことができない場合は、担当サービスにお問い合わせください。
- 紙づまりで用紙を製品内部から取り除くときは、紙づまりしている用紙の上にのっているトナーが衣服や手に触れないように取り除いてください。衣服や手が汚れた場合は、直ちに水で洗い流してください。温水で洗うとトナーが定着し、汚れがとれなくなることがあります。
- 紙づまりで用紙を製品内部から取り除くときは、紙づまりしている用紙の上にのっているトナーが飛び散らないように、丁寧に取り除いてください。トナーが目や口などに入ることがあります。トナーが目や口に入った場合は、直ちに水で洗い流し、医師と相談してください。
- 製品内部の定着器周辺は、使用中に高温になります。紙づまりの処理など内部を点検するときは、定着器周辺に触れないように点検してください。やけどの原因になることがあります。

- 紙づまり処理など内部を点検するとき、定着器周辺に直接触れなくても、定着器周辺の熱に長時間さらされないように注意してください。低温やけどの原因になることがあります。
- 紙づまり時には、画面に表示されているメッセージに従って、つまっている用紙を機械内部に紙片が残らないように取り除いてください。また、表示以外の箇所には無理に手を入れないでください。けがややけどの原因になることがあります。
- 紙づまりの処理がすべて終了したら、本製品から直ちに手を離してください。ローラー部に衣服や手が巻き込まれて、けがの原因になることがあります。

重要　フィーダーで紙づまりが発生したときは、続けて操作を行うことはできません。画面の指示に従って用紙を取り除いてください。

メモ　複数の箇所に用紙がつまっている場合は、タッチパネルディスプレーに表示された順に処理してください。

1 画面に表示されたすべての紙づまり箇所を確認し、つまった紙を取り除きます。

用紙が破れた場合は、残りの紙片もすべて取り除いてください。

重要　紙づまり中に電源を切ると、カセットの紙づまりが検知されなくなります。電源を切らずに紙づまりを処理してください。

メモ　画面に表示されている紙づまり位置に、実際には紙がつまっていない場合があります。そのような場合もありますが、画面の表示に従い、必ずすべての表示箇所を確認してください。

2 表示された箇所につまっている紙をすべて取り除いたら、レバーやカバーなどを処理する前の状態に戻します。

3 画面の指示に従って操作を続けます。

フィーダー以外の紙づまりの処理が終了するとプリント動作を再開します。

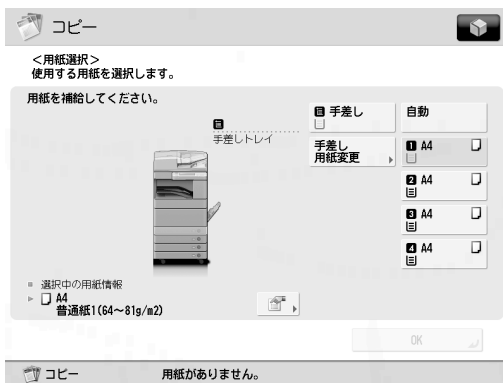
取り除く紙が他にもある場合は、タッチパネルディスプレーに紙づまりの処理方法を示す画面が表示されます。手順 1 から同様の作業をしてください。

こんなときは

プリントができないときやメッセージが表示されたときなどの対処方法について説明します。

用紙の補給

プリントする用紙を選択した際に選択した用紙がないときや、本製品のプリント動作中にプリントできる用紙がなくなったとき、タッチパネルディスプレーに用紙の補給を促す画面が表示されます。タッチパネルディスプレーに表示されるカセットの段数と用紙サイズを確認して、用紙を補給してください。

カセットに用紙を補給する方法、カセットの用紙サイズを変更する方法については、本体付属の取扱説明書を参照してください。

注意 用紙を補給するときは、用紙の端で手を切ったりしないように、注意してください。

重要

- カセットが本体の奥まで押し込まれていないときでも、用紙補給画面が表示されることがあります。カセットは「カチッ」と音がするまで、本体の奥に押し込んでください。
- カセットには、郵便はがき、封筒はセットできません。
- カセットにセットできる用紙については、本体付属の取扱説明書を参照してください。
- 用紙はよくさばいてからセットしてください。薄紙、再生紙、パンチ済み紙、厚紙、OHPフィルムなどの用紙は特によくさばいてからセットしてください。
- カセットの用紙をセットする部分以外のスペースに、用紙や用紙以外のものを入れないでください。紙づまりの原因になる場合があります。

メモ

- 連続プリント中に用紙補給のメッセージが表示されたときには、用紙を補給したあと自動的にプリントが再開されます。他の給紙箇所を選択した場合は、［OK］を押すとプリントが再開されます。
- ［中止］を押すと、プリントが中止されます。

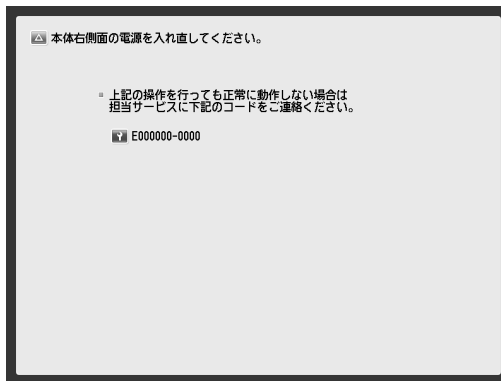
トナー容器の交換、回収トナー容器の交換

トナーが残り少なくなると、タッチパネルディスプレーにメッセージが表示されます。お使いの機種によっては、表示される画面が異なります。

回収トナー容器の空き容量が少なくなると、タッチパネルディスプレーにメッセージが表示されます。お使いの機種によっては、表示される画面が異なります。

- [後で処理] または、[閉じる] を押したときは、トナーをすぐに交換しなくても、しばらくプリントできますが、新しいトナー容器を用意してください。
- トナーがなくなり、プリントできない状態になると、タッチパネルディスプレーにトナー容器の交換方法が表示されます。手順に従ってトナー容器を交換してください。
- [後で処理] または、[閉じる] を押したときは、トナーをすぐに交換しなくても、モードの設定、原稿の読み込みなどの操作を続けることができます。
- お使いの機種によっては、トナーの交換方法が異なります。トナー容器、回収トナー容器の交換については、本体付属の取扱説明書を参照してください。

サービスコール表示

本体に何らかの異常が起こり、正常に動かなくなったときは、担当サービスに連絡をするよう促す画面が表示されます。お使いの機種によっては、表示される画面が異なります。

担当サービスに連絡をするよう促す画面が表示された場合は、本体の電源を切って、もう一度入れなおす必要があります。（→電源の入れかた／切りかた：P.5-2）

電源が入らないとき（ブレーカーの確認）

主電源スイッチが入っているのに操作パネルの主電源ランプが点灯しない場合は、ブレーカーが OFF になっていないか必ず確認してください。

確認を行ったあとブレーカーが OFF になっていた場合は、ブレーカーを再度入れなおさずに担当サービスにご連絡ください。

お使いの機種によっては、ブレーカーの確認が必要ない場合もあります。

⚠警告　本製品のブレーカーが落ちていた場合は、ブレーカーを再度入れなおさないでください。感電、発火、発煙または屋内ブレーカーが落ちる原因になります。

こんな表示が出たら

本製品で表示されるメッセージと、その原因および対処方法を簡単に説明します。

課金管理が OFF に設定されています。

原　因　設定／登録の［課金管理を使用］が「OFF」になっています。

処　置　設定／登録の［課金管理を使用］を「ON」にして、課金機能を有効にしてください。

つり銭切れ：¥●●

原　因　●●円のつり銭が切れています。

処　置　●●円のつり銭を補給してください（→コインマネージャー取扱説明書）

コインの追加はできません。

原　因　コインマネージャーに投入できる金額をオーバーしています。

処　置　返却レバーを押して、投入したコインを引き落とすか、コインマネージャーに投入されているコインを取り出してください。

履歴の件数がいっぱいです。

原　因　課金ログに表示できる履歴件数をオーバーしています。

処　置　課金ログを削除してください。

準備中です。しばらくお待ちください。

原　因　接続するデバイスが起動中です。

処　置　メッセージが消えるまでしばらくお待ちください。

メモリーがいっぱいです。

原　因　メモリーがいっぱいです。

処　置　本体内の不要なデータを削除してください。

本製品を管理されるかたへ

5
CHAPTER

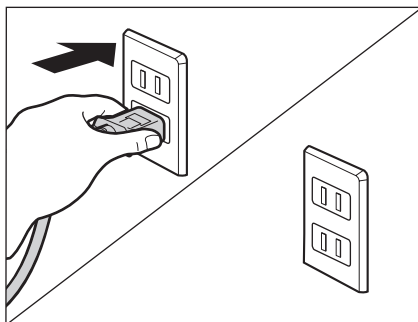
本製品を管理されるかたにむけての各種設定について説明します。

電源の入れかた／切りかた

電源の入れかた、切りかたについて説明します。お使いの機種によって、主電源スイッチと操作部電源スイッチ、主電源スイッチと節電キー、または主電源スイッチと操作部電源スイッチと節電キーがあります。

電源は通常入れたままにしておきますが、清掃などで電源を切ったときは、次の手順に従って電源を入れてください。

重要　主電源スイッチをいったん切って入れなおす場合は、10 秒以上待ってから行ってください。

電源を入れる

電源の入れかたについて説明します。

重要
- 本製品の電源を入れる場合は、手順に従ってコインマネージャー／プリペイドマネージャーの電源スイッチ、本体の主電源スイッチの順に入れてください。
- 手順を間違えてしまった場合は、すべての電源スイッチを切り、手順に従って電源を入れなおしてください。

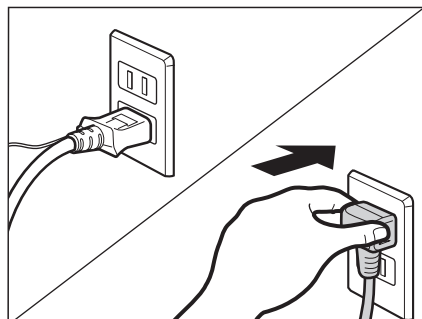
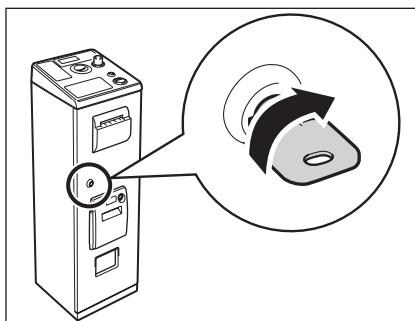
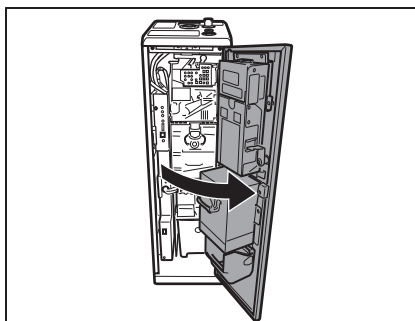
コインマネージャーをお使いの場合

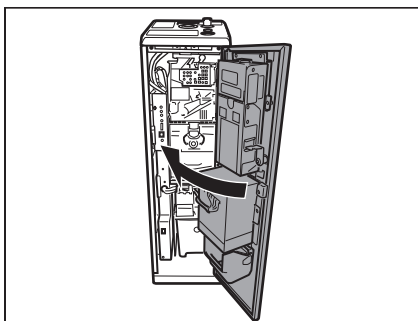
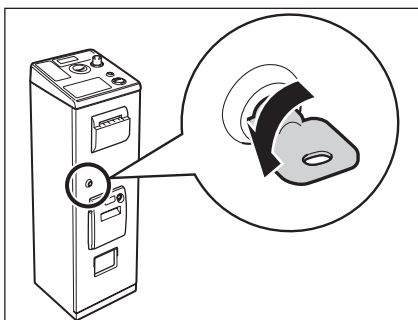
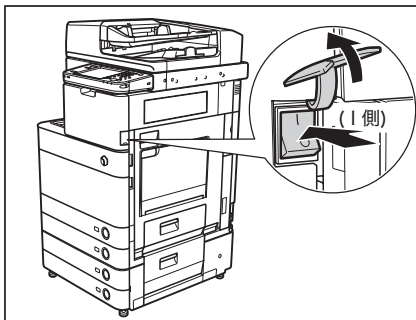
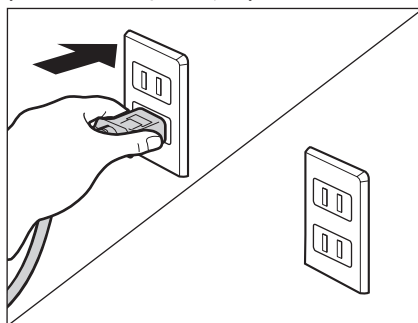
1　コインマネージャーの電源スイッチが切れていることを確認し、コインマネージャーの電源プラグをコンセントに差し込みます。

（コインマネージャー）

（本体）

警告
- 濡れた手で電源プラグを抜き差ししないでください。感電の原因になります。
- 電源コードはコンセントの奥までしっかりと差し込んでください。しっかりと差し込まないと、火災や感電の原因になります。

2 本体の主電源スイッチが切れていることを確認し、本体の電源プラグをコンセントに差し込みます。

3 コインマネージャーの前カバーにキーを差し込み、かぎを開けます。

4 コインマネージャーの前カバーを開けます。

5 コインマネージャーの電源スイッチを入れます。

6 コインマネージャーの前カバーを閉めます。

7 コインマネージャーの前カバーにかぎをかけます。

8 主電源スイッチを「｜」側へ倒して電源を入れます。

主電源スイッチを操作するときは、主電源スイッチのカバーを開いてください。

操作パネルの主電源ランプが点灯します。

重要 主電源スイッチが入っているのに操作パネルの主電源ランプが点灯しない場合は、ブレーカーが OFF になっていないか必ず確認してください。(→電源が入らないとき（ブレーカーの確認）：P.4-6)

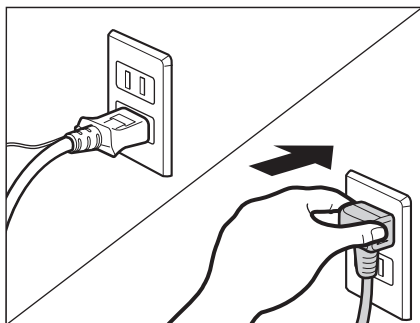
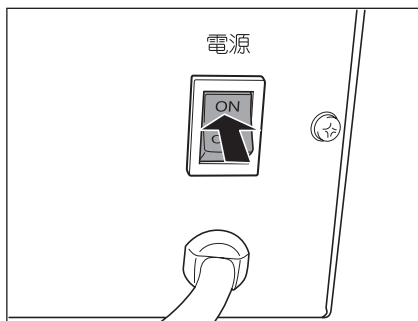
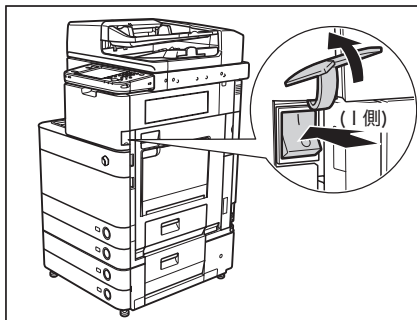
プリペイドマネージャーをお使いの場合

1 プリペイドマネージャーの電源スイッチが切れていることを確認し、プリペイドマネージャーの電源プラグをコンセントに差し込みます。

(プリペイドマネージャー)

(本体)

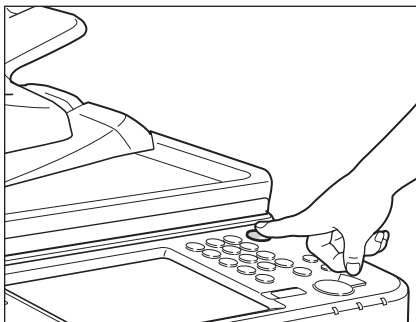
警告
- 濡れた手で電源プラグを抜き差ししないでください。感電の原因になります。
- 電源コードはコンセントの奥までしっかりと差し込んでください。しっかりと差し込まないと、火災や感電の原因になります。

2 本体の主電源スイッチが切れていることを確認し、本体の電源プラグをコンセントに差し込みます。

3 プリペイドマネージャーの電源スイッチを入れます。

4 主電源スイッチを「｜」側へ倒して電源を入れます。

主電源スイッチを操作するときは、主電源スイッチのカバーを開いてください。

操作パネルの主電源ランプが点灯します。

重要 主電源スイッチが入っているのに操作パネルの主電源ランプが点灯しない場合は、ブレーカーが OFF になっていないか必ず確認してください。（→電源が入らないとき（ブレーカーの確認）：P.4-6）

操作部電源スイッチ／節電キーについて

スリープ状態を解除してコピーやプリントなどの操作をするときに操作パネル上の操作部電源スイッチを押します。お使いの機種によっては、操作部電源スイッチがありません。操作部電源スイッチがない場合は、節電キーを押してスリープ状態を解除してください。

メモ

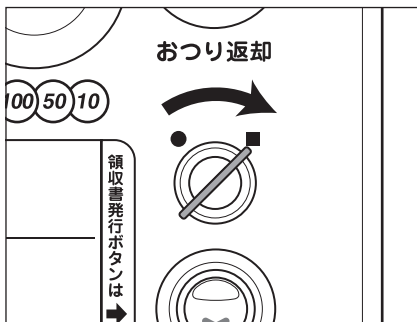
- スリープ状態のときでもパソコンからのデータ受信は可能です。
- スリープ状態が解除されてから、プリントができる状態になるまでの時間については、本体付属の取扱説明書に記載されている仕様一覧の「ウォームアップタイム」を参照してください。
- ［環境設定］（設定／登録）の［タイマー / 電力設定］から、［スリープ時の消費電力］を「少ない」に設定した場合は、操作部電源スイッチまたは節電キーを押してからタッチパネルディスプレーが表示されるまで、10 秒以上かかる場合があります。

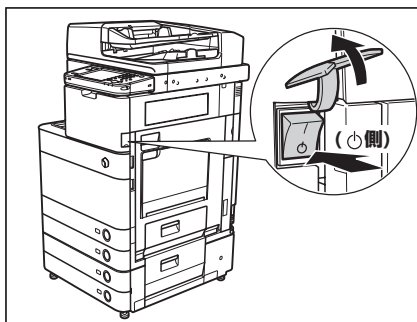
電源を切る

本製品の主電源を切る際に動作中のジョブがある場合、ジョブを確認しながらキャンセル処理を行い、ハードディスクへのアクセスを制限します。この処理を行うことによって本製品のハードディスクを保護できます。また、本体内部の冷却作業を行うハードウェアの終了処理を行います。この処理を行うことによって本製品を安全に終了できます。本製品の主電源の切断は必ず次の手順に従って行ってください。

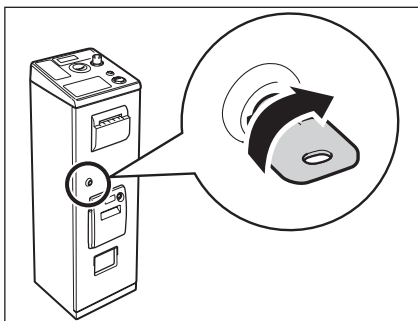
重要　次の手順に従わずに主電源を切断した場合、次回立ち上げ時以降の出力画像が乱れる可能性があります。この際、正常な画像に戻すためには、多数の用紙出力が必要となります。

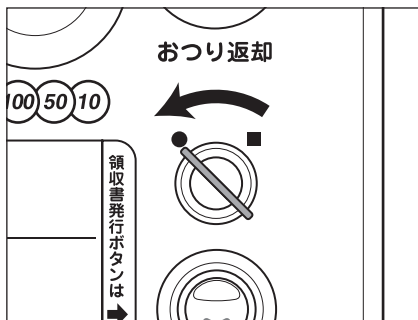
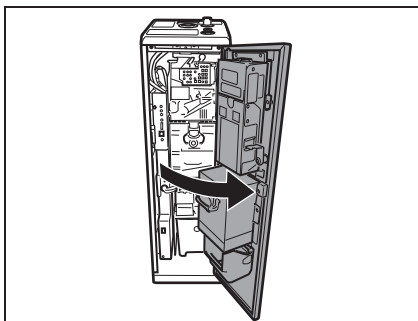
コインマネージャーをお使いの場合

1 コインマネージャーにキーを差し、■側にします。

お使いのコインマネージャーで切り替えができない場合は、この操作は必要ありません。手順２へ進んでください。

2 主電源スイッチを「⏻」側に倒します。

主電源スイッチを操作するときは、主電源スイッチのカバーを開いてください。

ジョブ確認画面が表示され、シャットダウンモードに移行します。

重要

- 本製品の電源が切れるまでに、しばらく時間がかかることがあります。本製品の主電源ランプが消灯するまで電源プラグを抜かないでください。
- 原稿読み込み中や出力時に主電源スイッチを切ると、紙づまりの原因になることがあります。
- 終了処理中にプリントデータが送信されると、プリントデータの大きさによっては本体がデータを受信する場合があります。その場合にはプリントデータの印刷はできません。

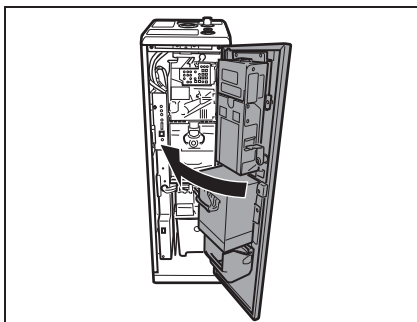
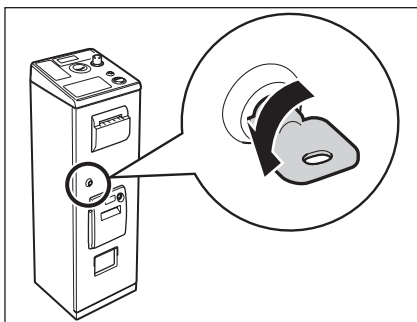
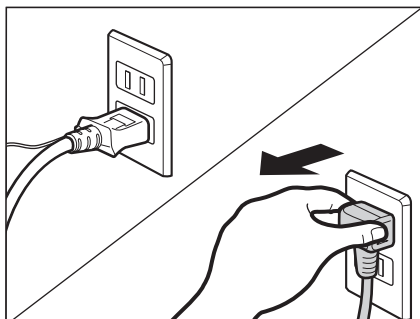
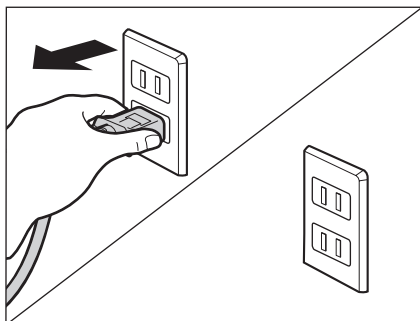
3 コインマネージャーに差したキーを●側に戻します。

お使いのコインマネージャーで切り替えができない場合は、この操作は必要ありません。手順４へ進んでください。

4 コインマネージャーの前カバーにキーを差し込み、かぎを開けます。

5 コインマネージャーの前カバーを開けます。

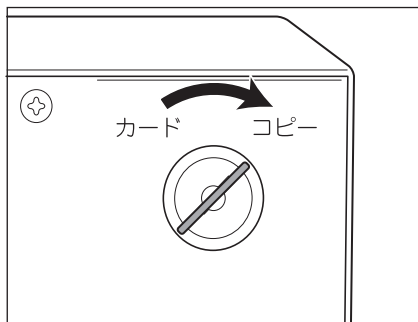
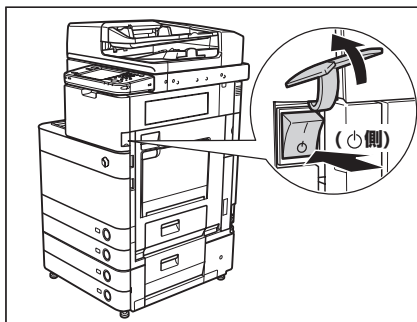
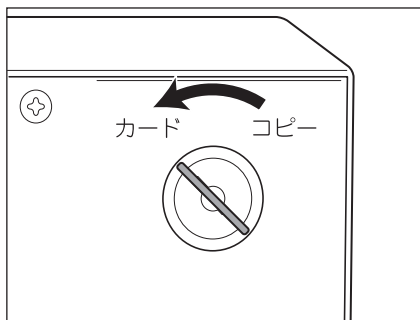
6 コインマネージャーの電源スイッチを切ります。

電源が切れると、金額表示が消えます。

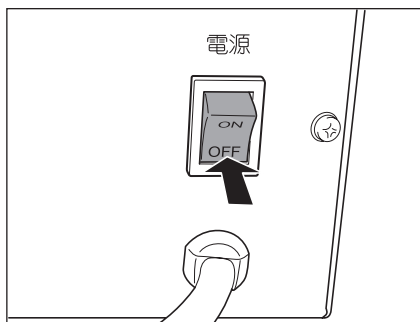
7 コインマネージャーの前カバーを閉めます。

8 コインマネージャーの前カバーにかぎをかけます。

9 本体の主電源スイッチが切れていることを確認し、本体の電源プラグをコンセントから抜きます。

⚠注意
- 電源プラグを抜くときは、必ず電源プラグを持って抜いてください。電源コードをひっぱると、電源コードの芯線の露出、断線など電源コードが傷つき、その部分から漏電して、火災や感電の原因になることがあります。
- サービスコール表示がタッチパネルディスプレーに表示されたときは、表示されている内容をメモし、主電源スイッチ、コインマネージャーの電源スイッチの 2 か所の電源スイッチを切ったあと、すぐに電源プラグをコンセントから抜いてください。（→サービスコール表示：P.4-5）

10 コインマネージャーの電源スイッチが切れていることを確認し、コインマネージャーの電源プラグをコンセントから抜きます。

プリペイドマネージャーをお使いの場合

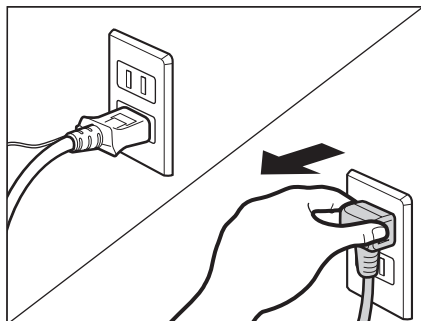
1 プリペイドマネージャーにキーを差し、コピー側にします。

2 主電源スイッチを「⏻」側に倒します。

主電源スイッチを操作するときは、主電源スイッチのカバーを開いてください。

ジョブ確認画面が表示され、シャットダウンモードに移行します。

重要

- 本製品の電源が切れるまでに、しばらく時間がかかることがあります。本製品の主電源ランプが消灯するまで電源プラグを抜かないでください。
- 原稿読み込み中や出力時に主電源スイッチを切ると、紙づまりの原因になることがあります。
- 終了処理中にプリントデータが送信されると、プリントデータの大きさによっては本体がデータを受信する場合があります。その場合にはプリントデータの印刷はできません。

3 プリペイドマネージャーに差したキーをカード側にします。

4 プリペイドマネージャの電源スイッチを切ります。

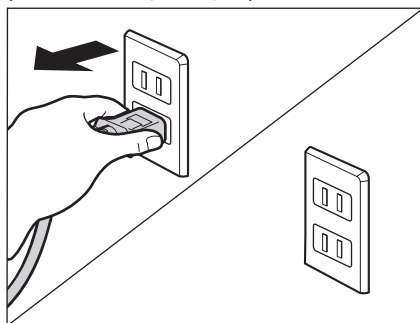
5 本体の主電源スイッチが切れていることを確認し、本体の電源プラグをコンセントから抜きます。

（プリペイドマネージャー）

（本体）

注意

- 電源プラグを抜くときは、必ず電源プラグを持って抜いてください。電源コードをひっぱると、電源コードの芯線の露出、断線など電源コードが傷つき、その部分から漏電して、火災や感電の原因になることがあります。
- サービスコール表示がタッチパネルディスプレーに表示されたときは、表示されている内容をメモし、主電源スイッチ、プリペイドマネージャーの電源スイッチの 2 か所の電源スイッチを切ったあと、すぐに電源プラグをコンセントから抜いてください。(→サービスコール表示：P.4-5)

6 **プリペイドマネージャーの電源スイッチが切れていることを確認し、プリペイドマネージャーの電源プラグをコンセントから抜きます。**

(プリペイドマネージャー)

(本体)

5

本製品を管理されるかたへ

消費電力の節約について

本製品が動作していないときや、ご使用になっていないときに、以下の機能で効率的に節電できます。お使いの機種によっては、スリープモード／オートスリープ時刻／節電モード／低電力モードを設定できない場合があります。

重要　主電源スイッチを切った場合でも、電源プラグを電源コンセントに差し込んだ状態では、わずかですが電力が消費されています。完全に電力消費をなくすためには、電源プラグを電源コンセントから抜いてください。

メモ
- 次の各機能が働くと、タッチパネルディスプレーの表示は消えた状態になります。
- 次の各機能が働いている状態でも、コンピューターから文書のデータを送ることはできます。

■ スリープモードについて

原稿の読み込み中、コピー中以外は、操作部電源スイッチを押すことで、スリープモードにできます。操作を再開する場合は再度、操作部電源スイッチを押してください。
お使いの機種によっては、操作部電源スイッチがありません。操作部電源スイッチがない場合は、節電キーを押してください。

メモ
- スリープ時の消費電力は、[環境設定]（設定／登録）の［タイマー / 電力設定］から、［スリープ時の消費電力］を選択して設定できます。条件によっては、完全なスリープ状態に移行しないことがあります。詳細については、本体付属の取扱説明書を参照してください。
- お使いの機種によっては、スリープモードは、低電力モードよりさらに消費電力を少なくします。
- 夜間など長時間製品を使用しない際には、操作部電源スイッチまたは節電キーを押して、スリープモードにしてください。
- 自動的にスリープ状態になるまでの時間は、[環境設定]（設定／登録）の［タイマー / 電力設定］から、［オートスリープ移行時間］を選択して設定できます。詳細については、本体付属の取扱説明書を参照してください。
- 本製品がスリープ状態から復帰する際に、シャットダウンされたMacintoshがUSBケーブルにより接続されている場合、本製品とともに Macintosh も起動することがあります。この場合は、USB ケーブルによる接続を取り外してください。（本製品と Macintosh の間に USB ハブを使用すると、この問題が解決される場合があります。）
- ［スリープ時の消費電力］を［少ない］に設定した時は、操作部電源スイッチまたは節電キーを押してからタッチパネルディスプレーが表示されるまで、10 秒以上かかる場合があります。

■ オートスリープ時刻について

オートスリープ時刻で設定された曜日、時刻になると自動的にスリープモードになります。操作を再開する場合は、操作部電源スイッチを押します。お使いの機種によっては、操作部電源スイッチがありません。操作部電源スイッチがない場合は、節電キーを押してください。

メモ　オートスリープ時刻は日曜日～土曜日、00:00 ～ 23:59 の範囲で設定できます。自動的にスリープ状態にする時間は、［環境設定］（設定／登録）の［タイマー / 電力設定］から、［オートスリープ時刻の設定］を選択して設定できます。詳細については、本体付属の取扱説明書を参照してください。

■ 節電モードについて

長時間操作を行わない場合は◎（節電）を押して節電モードにできます。節電モードは、定着器の温度を下げて消費電力を少なくします。操作を再開する場合は再度◎（節電）を押します。操作部電源スイッチを押しても操作を再開できます。

重要　お使いの機種によって、節電モードが設定できない場合があります。

メモ
- 節電モードの変更は、［環境設定］（設定／登録）の［タイマー / 電力設定］から、［節電モードの変更］を選択して設定できます。詳細については、本体付属の取扱説明書を参照してください。
- 節電モードでー 50%モードに設定した場合は、低電力モードと消費電力が同じになります。

■ 低電力モードについて

プリント終了後、またはキー操作後一定時間経過したときに、タッチパネルディスプレーの表示が消え、◎（節電）が点灯した状態になります。このとき本製品は低電力モードに入っています。低電力モードは、定着器の電力を減らして、消費電力を少なくするモードです。操作を再開する場合は、◎（節電）を押します。操作部電源スイッチを押しても操作を再開できます。

重要　お使いの機種によって、低電力モードが設定できない場合があります。

メモ
- 低電力モードへの移行時間は、5 分～ 4 時間の範囲で設定できます。工場出荷時は「1 時間」に設定されています。
- 低電力モードへの移行時間は、［環境設定］（設定／登録）の［タイマー / 電力設定］から、［低電力モード移行時間］を選択して設定できます。詳細については、本体付属の取扱説明書を参照してください。

設定／登録を設定する

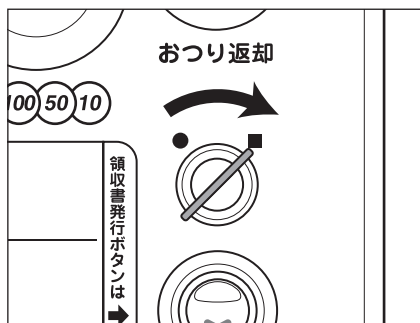
設定／登録では本製品のさまざまな設定を、使用する条件や環境に合わせて変更できます。

メモ
- 設定／登録で設定した内容は、（リセット）を押しても変更されません。
- 設定／登録の内容は、リモート UI からも設定できます。詳細については、本体付属の取扱説明書を参照してください。

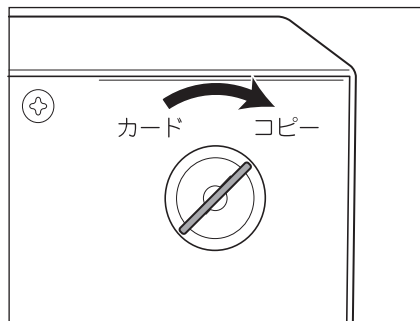
設定／登録画面の操作の流れ

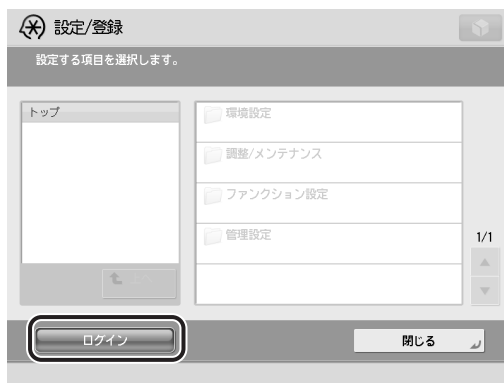
1 モードを切り替えます。

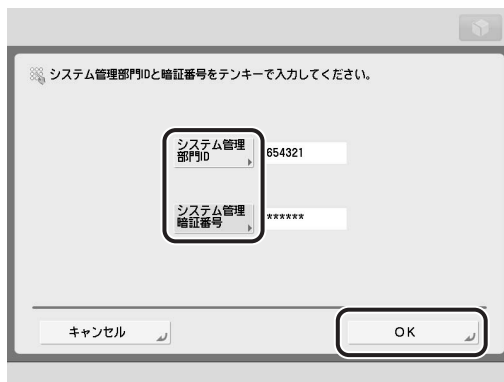
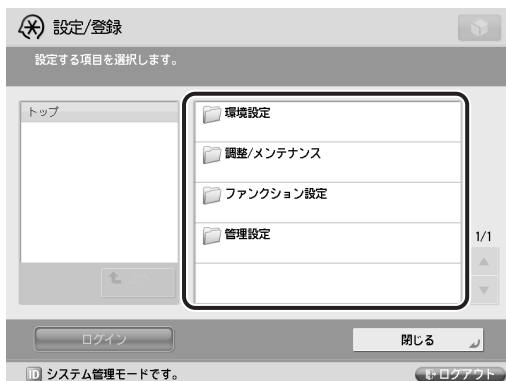
● **コインマネージャーをお使いの場合**

❏ コインマネージャーにキーを差し、■側にします。

お使いのコインマネージャーで切り替えができない場合は、この操作は必要ありません。手順 2 へ進んでください。

● **プリペイドマネージャーをお使いの場合**

❏ プリペイドマネージャーにキーを差し、コピー側にします。

2 （設定／登録）を押します。

3 ［ログイン］を押します。

4 システム管理部門 ID とシステム管理暗証番号を入力したあと、［OK］または［ログイン］を押します。

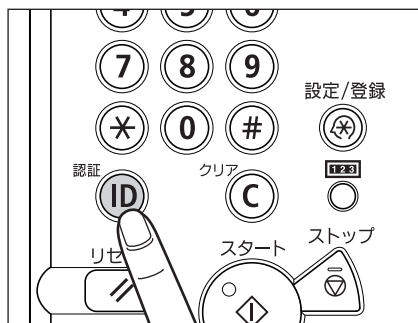
5
本製品を管理されるかたへ

5 右側のリストから設定したい項目を表示させます。

6 項目を設定したあと、[閉じる］を押します。

ひとつ上の階層に戻りたい場合は、[上へ］を押します。

5

本製品を管理されるかたへ

7 操作終了後、画面右下の［ログアウト］を押してログアウトします。

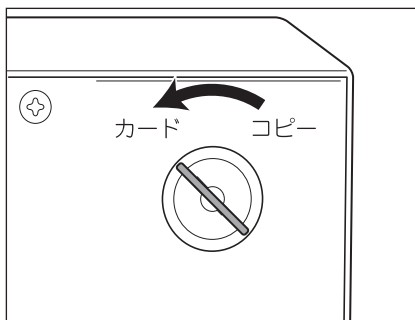
ID（認証）を押してログアウトすることもできます。

8 モードを切り替えます。

● **コインマネージャーをお使いの場合**

❑ コインマネージャーに差したキーを●側にします。

お使いのコインマネージャーで切り替えができない場合は、この操作は必要ありません。

● **プリペイドマネージャーをお使いの場合**

❑ プリペイドマネージャーに差したキーをカード側にします。

設定／登録一覧表

設定／登録で登録／設定できるマルチモード固有の項目は次のとおりです。

本書に記載されていない設定項目については、本体付属の取扱説明書を参照してください。

重要 マルチモードでは機能しない項目が表示される場合があります。

メモ ［ファンクション設定］（設定／登録）の［プリンター］を有効にするためには、お使いになる前に、ネットワークの設定とプリンタードライバーのインストールをする必要があります。ネットワークの設定方法、プリンタードライバーのインストール方法については、本体付属の取扱説明書を参照してください。

■ 管理設定：課金管理

設定／登録項目	設定項目	工場出荷時の設定	機器情報配信項目
課金管理を使用	ON、OFF	ON	×
単価設定	コピー、セキュアプリント 単価テーブル、編集、初期値に戻す	−	×
課金ログ	コピー、セキュアプリント、トータル 課金ログクリア、課金ログプリント	−	×

メモ 機器情報配信項目の表示は次のとおりです。機器情報配信情報については、本体付属の取扱説明書を参照してください。

・○：機器情報配信対象

・×：機器情報配信対象外

課金管理（管理設定）を設定する

マルチモード固有の管理設定を設定します。課金管理ではマルチモードのさまざまな設定を、使用する条件や環境に合わせて変更できます。

メモ　管理設定で設定した内容は、（リセット）を押しても変更されません。

課金機能の設定をする（課金管理を使用）

課金機能を有効にするかどうか設定します。「OFF」に設定すると、一時的に課金状態を解除し、すべての機能を無料で使用できます。［管理設定］（設定／登録）の課金管理で、［課金管理を使用］が表示されている場合と表示されていない場合があります。

重要　［課金管理を使用］を「OFF」にしている場合は、ステータス表示部に「課金管理が OFF に設定されています。」というメッセージが表示されます。［課金管理を使用］を「OFF」にした場合は本体を使用したあと、忘れずに「ON」に切り替えてください。

［課金管理を使用］が表示されている場合

1 **（設定／登録）→［管理設定］→［課金管理］→［課金管理を使用］を押します。**

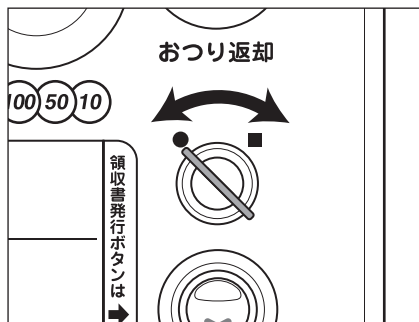
2 **課金機能を有効にする場合は［ON］に、無効にする場合は［OFF］にします。**

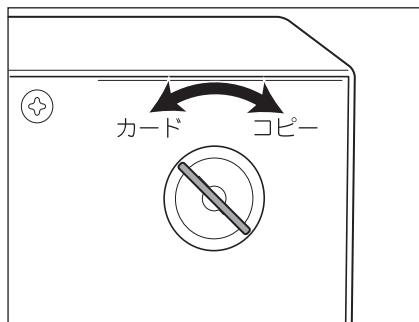
メモ
- お使いのコインマネージャーで切り替えができる場合は、コインマネージャーにキーを差して●側にして、［課金管理を使用］を［ON］にすることで、課金機能を有効にできます。
- コインマネージャーをお使いの場合、［課金管理を使用］を［OFF］に設定するか、あるいはコインマネージャーにキーを差して■側にすると、課金機能は無効になります。
- プリペイドマネージャーをお使いの場合、プリペイドマネージャーにキーを差してカード側にして、［課金管理を使用］を［ON］にすることで、課金機能を有効にできます。
- プリペイドマネージャーをお使いの場合、［課金管理を使用］を［OFF］に設定するか、あるいはプリペイドマネージャーにキーを差してコピー側にすると、課金機能は無効になります。

［課金管理を使用］が表示されていない場合

1 **課金機能を設定します。**

● **コインマネージャーをお使いの場合**

❑ 課金機能を有効にする場合はコインマネージャーにキーを差して●側に、無効にする場合は■側に切り替えます。

● **プリペイドマネージャーをお使いの場合**

❑ 課金機能を有効にする場合はプリペイドマネージャーにキーを差してカード側に、無効にする場合はコピー側に切り替えます。

金額の設定をする（単価設定）

コピーとプリントの一面あたりの料金を用紙サイズや色によって設定します。

1 （設定／登録）→［管理設定］→［課金管理］→［単価設定］を押します。

2 設定する課金単価の種類を選択します。

選択できる項目

コピー　　　　　：コピー機能を使用したときの課金単価です。

セキュアプリント：プリント機能を使用したときの課金単価です。

3 設定するプリントの種類を選択して、［編集］を押します。

設定できる項目

	コピー	セキュアプリント
カラー機	白黒（ラージ） 白黒（スモール） カラー（ラージ） カラー（スモール） 単色カラー（ラージ） 単色カラー（スモール）	白黒（ラージ） 白黒（スモール） カラー（ラージ） カラー（スモール） 単色カラー（ラージ） 単色カラー（スモール）
モノクロ機	白黒（ラージ） 白黒（スモール）	白黒（ラージ） 白黒（スモール）

ラージ：　A3 以上の定形サイズ

スモール：　B4 以下の定形サイズ

* ただし、担当サービスの設定によって異なる場合があります。

5 本製品を管理されるかたへ

メモ　単価を初期値に戻す場合は、［初期値に戻す］を押します。

4 単価を入力して、［OK］を押します。

メモ　単価はコインマネージャーに投入可能な金額の範囲内で設定できます。

履歴を管理する（課金ログ）

課金ログを表示する

本製品で課金したコピーとプリントの枚数を、プリントの種類ごとにカウントし、確認できます。コピーとプリントのそれぞれの合計と、総合計であるトータルにわけてリスト表示できます。

メモ　［課金管理を使用］を「OFF」に設定した場合のプリントやレポート出力、課金ログプリントはカウントされません。

1 （設定／登録）→［管理設定］→［課金管理］→［課金ログ］を押します。

2 ドロップダウンリストを押したあと、課金ログを表示したいジョブの種類を選択します。

選択できる項目

コピー　　　　　：課金してコピーされたカウント数／単価／小計をリスト表示します。

セキュアプリント：課金してプリントされたカウント数／単価／小計をリスト表示します。

トータル　　　　：本製品で課金してプリントされたカウント数／小計の合計をリスト表示します。

3 表示された課金ログを確認します。

課金ログをクリアする

トータル画面から、課金ログをすべてクリアできます。

メモ　課金ログをプリントすると、課金ログをすべてクリアできます。

1 （設定／登録）→［管理設定］→［課金管理］→［課金ログ］を押します。

2 ドロップダウンリストを押したあと、［トータル］を選択します。

3 ［課金ログクリア］を押します。

4 ［はい］を押します。

課金ログをプリントする

トータル画面から、課金ログをプリントできます。

メモ　課金ログをプリントすると、課金ログをすべてクリアできます。

1 （設定／登録）→［管理設定］→［課金管理］→［課金ログ］を押します。

2 ドロップダウンリストを押したあと、［トータル］を選択します。

3 ［課金ログプリント］を押します。

4 ［はい］を押します。

付録

索引を記載しています。

索引

あ

か

さ

た

は

ま

や

ら